

第14回野口国際ビジネス交流会

- 講演者ご紹介 -

2014年7月29日14:30~受付開始



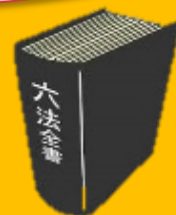
数々の案件に勝利してきた弁護士



八木 清文の

『中小企業の経営者が

知っておくべき法律あれこれ』



1960年東京都生まれ。当財団顧問弁護士。中央大学法学部法律学科卒業。司法試験合格後、同大学法学部の非常勤講師、三和機材株式会社社外監査役、徳間書店株式会社社外監査役、りんかい日産建設株式会社社外監査役、ニチハ株式会社(名証・東証1部上場)社外監査役を歴任。現在、磯邊・高橋・八木法律事務所パートナー。平成21年4月より同22年3月まで第一東京弁護士会副会長に就任。関与した事件は、更生会社千代田生命保険相互会社管財人代理、更生会社小田原城カントリークラブ管財人ほか企業再生案件多数、第一勧銀株主代表訴訟事件被告(役員)訴訟代理人、第一火災海上保険役員損害賠償事件被告訴訟代理人、株式会社大京新株発行検査役。

【著書のご紹介】

※いずれも執筆分担



題名:『保証契約の法律相談』
出版社:青林書院
内容:雑化する保証契約重要問題84を収録。与信取引・債権管理担当者が直面する複雑困難な解釈論にも随所で言及、問題解決の指針を示す。



題名:『ビジネス法務大系Ⅱ M&Aジョイントベンチャー』
出版社:日本評論社
内容:会社法務に関連する諸問題のなかで、M&A、ジョイント・ベンチャー(JV)に関するトピックを取り上げ、10のテーマにつき、法状況を理論的に整序し、解決の方向性を指し示す。



見えないがんを診つける放射線医

+

佐藤 俊彦の

『症例から学ぶ

—セカンドオピニオン外来のいま—』



1960年福島県生まれ。当財団理事。福島県立医科大学卒業と同時に、同大学放射線科に入局。日本医科大学第一病院放射線科助手、獨協医科大学放射線科助手、鷲谷病院副院長を経て、97年宇都宮セントラルクリニック(現・医療法人DIC宇都宮セントラルクリニック)を設立、2002年(株)ドクターネットを設立し、08年(医)DIC理事に就任、10年(株)AIM JAPANを設立、11年メディカルリサーチ(株)を設立、(株)共生医学研究所取締役就任。14年4月東北福祉大学 特任教授に任命。著書は、『がんでは死なない!ボケにもならない!』(メタモル出版)『100歳まで現役で生きる人のシンプルな習慣』(幻冬舎)『だから放射線科医はおもしろい!』(現代書林)『福島原発事故「2015年問題」の真実』(現代書林)その他下記にて紹介。

【著書のご紹介】



題名:『がん消滅「見えないがん」を見つけて叩く!』
出版社:現代書林
内容:がん発症はもとより、再発・転移予防の可能性を飛躍的に高めた新しい治療システム—BAK療法と、それを支えるテロメスキャン。最先端の科学で、「見えないがん」を叩き潰す。



題名:『超早期乳がん最新治療』
出版社:現代書林
内容:乳がんだって、たった2ミリのうちに見つけ出せば、切らずに治すことができます。しかも、苦痛だった検診も劇的に改善。そんな画期的な超早期発見・治療法を徹底紹介。

※講演内容は変更になる場合がございます。